

**目** ヨークタウン白河横町が待望のグランドオープン  
まちなかの活性化、着実に

6月24日、ヨークタウン白河横町（横町）がグランドオープンし、初日から多くの人々にぎわいました。敷地内には、ヨークベニマル白河横町店のほか、ドラッグストア「サンドラッグ」、フィットネス「カーブス」、コインランドリー「サンキュー」が出店しています。市中心市街地活性化基本計画の事業ではほかにも、26日に「楽蔵」(中町)、28日に「白河商工会議所新会館」(道場小路)、7月24日に「市立図書館」(道場小路)がオープンしました。



▲オープニングセレモニーでのテープカット

**ま** まちなか歴史景観「蔵ウォーク」  
現代に引き継がれる歴史文化資源を見学

6月26日、第3回白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」が開催されました。中心市街地にあり城下町の趣を今なお残し、江戸・明治期から現代に引き継がれる蔵や中庭、樹木などの歴史文化資源について、市内まちなかに居住する方々の協力をいただき、一般公開されました。参加者は、ふだん目にする事のない歴史的な建造物や樹木などを見学し、白河の奥深い魅力に触れていました。



▲歴史ある蔵を改装し住宅とした邸宅を見学する参加者

**市** 市民芸能大会で自慢の芸を披露  
来場者から大きな拍手が送られる

7月3日、市東文化センター（東釜子）で、市文化団体連合会主催の「第4回白河市民芸能大会」が開催されました。大会には19の団体が出演し、民謡、民舞、阿波踊り、フラダンス、太鼓など、日ごろ磨いた自慢の芸を披露しました。来場者は、各団体の活気あふれる演技や演奏に見入り、演目が終わるたび、盛大な拍手を送っていました。



▲磨きをかけた自慢の芸を披露



**本** 市出身のシンガーソングライター、Y a m m y さんがライブ  
母校、ライブハウスなどで熱唱。ふるさとに元気を！

6月23日、本市大信出身の歌手Y a m m y さんが、母校の信夫一小でコンサートを行いました。24、25日開催の「Y a m m y ふるさとライブinしらかわ」での帰郷に合わせ、児童の前で歌って欲しいと学校が要請し実現したものです。子どもたちは、自分たちと同じ学校を卒業したY a m m y さんの歌声に聞き入っていました。また、震災で被災した故郷への思いから作られた「君のもとへ」は全員で合唱し、会場には大きな歌声が響き渡りました。24、25日には市内外の2か所で、26日には楽蔵特設ステージ（中町）でライブを行い、来場者にエールが送られました。なお、会場等で販売された「君のもとへ」のCD収益金の一部は、市への義援金に充てられます。



▲信夫一小の児童も熱唱

**社** 会を明るくする運動  
明るい社会を目指して街頭啓発活動

7月14日、市役所正面玄関前で「社会を明るくする運動」の法務大臣メッセージ伝達式が行われました。今年で61回目を迎えるこの運動は、犯罪や非行のない明るい社会を目指すことを目的としたもので、井坂巧福島保護観察所長がメッセージを伝達しました。式にはダルライザーや第一児童館の小学生も参加したほか、約90人の参加者がヨークベニマル白河横町店など市内3か所で啓発活動を行いました。



▲法務大臣メッセージ伝達式